

必須項目		
基礎情報	登録情報記載月	2020年2月
	登録番号	地域 003
	地域	愛知県名古屋市
	名称	東海臨床倫理研究会
	活動の概要	2009年に発足した東海救急看護研究会から発展的に組織を変更し、2014年4月に発足した。それまでは救急医療現場の倫理問題が中心であったが、認知症ケアや看取りなどの一般臨床で生ずる問題も視野に入れ、看護師だけでなく、医師や社会福祉関連職種など幅広い方々の参加を促している。2014年度から2019年度までの6年間で7回の事例検討会を開催した。7回中5回は名古屋市、他の2回は三重県と静岡県で開催した。検討事例は救急や集中治療現場で生じた倫理問題であったが、対象は小児、妊婦、精神障害、認知症、超高齢者、自殺企図患者などであった。過去7回の研究会参加者は延べ377名で、毎回50人余りの参加を得ている。参加者の所属施設は名古屋45%、愛知32%、三重13%、岐阜4%、静岡2%、関西他4%、職種は看護師71%、教員（ほとんど看護教員）20%、医師4%、その他5%であった。
	活動の特徴	東海臨床倫理研究会は誰でも気軽に参加できる地域の研究会である。テーマによってはシンポジウムやミニ講演会を組み入れることもあるが、主に事例検討を行っている。その内容は、事例紹介、症例検討シートを用いたグループワーク、グループ発表と全体討議、臨床倫理の専門家による解説や講評であり、最後に事例提供者が事例検討からの学びを述べる。施設や職種などが異なる方々によるグループワークでは、初対面同士であることも多いが、自由な意見交換が行われている。会員管理はしていないが、継続的に参加する方も多い。
	活動の広がり	毎回の研究会において、初めての参加者が約60%を占めている。積極的な広報活動は実施していないため、参加経験者が同僚等を誘って参加していると考えられる。
	協力や支援の可否	可能である。倫理の事例検討会を開催したいと考えている施設・地域に本研究会の世話人または参加経験者が複数で出向き、全体進行やグループワークのファシリテーターの役割を担いながら、事例検討会の開催方法を伝えることができる。
連絡担当者名	<a href="#">明石恵子</a>	
連絡先 (E-mail)	<a href="mailto:akashi@med.nagoya-cu.ac.jp">akashi@med.nagoya-cu.ac.jp</a>	
備考欄		

任意記載項目			
地域概要	認定機関名		
	会員数	これまでの事例検討会への参加者数（実数）	約200人
	賛助会員数		人
	非会員数		人
看護師	臨床倫理認定士修了者		3人
	上級臨床倫理認定士修了者		3人
	CBEL修了者		1人
	その他：専門看護師		2人

世話人	(職種名を記載)	臨床倫理認定士修了者		人
		上級臨床倫理認定士修了者		人
		CBEL修了者		人
		その他：		人
	(職種名を記載)	臨床倫理認定士修了者		人
		上級臨床倫理認定士修了者		人
		CBEL修了者		人
		その他：		人
	(職種名を記載)	臨床倫理認定士修了者		人
		上級臨床倫理認定士修了者		人
		CBEL修了者		人
		その他：		人
	(職種名を記載)	臨床倫理認定士修了者		人
		上級臨床倫理認定士修了者		人
		CBEL修了者		人
		その他：		人
外部コンサルタント	チームメンバーにはいない			
	臨床倫理認定士修了者		人	
	上級臨床倫理認定士修了者		人	
チーム実績	コンサルテーション窓口		なし	
	依頼件数	2019年度（2019年1月～2019年12月現在）	件	
	事例検討会件数	2019年度（2019年1月～2019年12月現在）	1件	
	事例検討会総参加者数	2019年度（2019年1月～2019年12月現在）	54人	
	区分	小児		1件
		成人（高齢者含む）		6件
		がん（AIDS /HIV含む）		1件
		非がん		6件
	依頼内容 （重複なし）	告知・インフォームドコンセント		7件
		症状コントロール		件
栄養・水分制限			件	
医療資源の分配			件	
療養場所の選択			件	
暴言・暴力への対応			件	
個人情報の取り扱い			件	
地域支援者への心理的支援			件	
講演・研修会	医療者・介護職対象	2019年度	回	
	行政対象	2019年度	回	
	一般市民対象	2019年度	回	
	その他：	2019年度	回	
社会活動	講師等の派遣	外部コンサルタント（年間契約）	施設	
備考	外部見学受け入れ		回	